

〈テーマ〉 児童の説明とブロック操作を関連させ、理解を深めさせる取組

【実践の概要】

○前時を振り返り、本時の問題を知る

$$\begin{array}{r} 40 \\ -18 \\ \hline \end{array}$$

T：今日はレベル5の問題です。

T：昨日の問題と違う所はどこでしょう。

C：昨日の問題は一の位が5だったけど、今日の問題は一の位が0だ。

○学習課題をつかむ

一の位が0の数のひっさんのしかたを書いてせつめいしよう。

T：困ったな、一の位の計算ができないよ。0-8はできないね。（引けないことを強調する）

C：あれ？引けない時はなんか方法があったな。

※本時の問題は、既習である十の位から繰り下げること気付かせたかったので、前時の学習のまとめ「一の位から引けない時は十の位から繰り下げる」というキーワードはあえて出さずに自力解決に取り組ませた。

○自力解決に取り組む

①

$$\begin{array}{r} 40 \\ -18 \\ \hline 22 \end{array}$$

C：十の位から繰り下げて10-8=2  
十の位は3になっ  
たから3-1=2

②

$$\begin{array}{r} 40 \\ -18 \\ \hline 32 \end{array}$$

C：十の位から繰り下げて10-8=2  
十の位は4-1=3

③

$$\begin{array}{r} 40 \\ -18 \\ \hline 38 \end{array}$$

C：一の位は0-8=8  
十の位は4-1=3

○ペア・集団解決

- ・ 友達に自分の書いたワークシートを見せながらペアでの発表を行った。ワークシートは全体での発表でも活用できるような形式にした。
- ・ 集団解決では、③→②→①の順に児童に説明をさせ、教師が説明の通りにブロックを操作し、式と言葉とブロック操作をつなぎながら解決をしていった。



○成果と課題

- ◎ ペア学習で自分の間違いに気付くことができた児童がいた。集団解決でも友達の説明を聞いて納得したり、付け足したりなど、全員で考えることができた。
- ◎ 児童の説明に沿って教師がブロック操作したことで、自分の考えを深めたり、間違いに気付くことができた。式と説明、ブロック操作をつなげることができた。

△ ③の答えを出した児童が、間違いに気付かず正解である①の

考えを聞いても自分の考えに固執する様子が見られた。間違いに気付き、より深い理解につなげるため（教師のブロック操作を見るだけでなく）自らのブロック操作を取り入れていく必要があった。

